

み

んなが自分らしく安心して生きることができると大阪府をつくりたい。

LGBT当事者、障がい者、外国籍であること、

ご年配のかた、子どもたち、女性…

属性により様々な生きづらさを

感じる社会を変えたい。

ゲイ(男性同性愛者)の1人として、

そんな思いを持ち政治の世界に

飛び込む決意をしました。

また民間企業で働いてきた経験を活かし

事業や商売をサポートする政策の実現や、

大阪維新の政治のもとで弱められてきた

行政の役割の立て直しにも取り組みます。

行政・民間・地域の力と知恵を結集し、

よりよい大阪府を未来へつなぐために

頑張ります。

39歳

みなと隆介

党淀川区
市政対策委員
湊 りゅうすけ

みなと隆介から

3
つのお約束

- 1 **市民目線の行財政改革と暮らし応援**でカジノに頼らない経済成長と、行政の大事な役割の立て直しを実現します。
- 2 **誰もが自分らしく安心して**生きることができると大阪府をつくりたい。
- 3 **淀川区の各地域**、大阪市内の**各行政区**の課題解決に力を尽くします。

PROFILE

1983年生まれ。福岡、アメリカなどを経て宮崎市で18歳まで過ごす。2006年京都大学経済学部卒業。大阪府に本社のある流通大手等で勤務、部長職も務める。

家族は18年連れ添う同性パートナー。趣味は読書(三浦綾子)と音楽鑑賞(SEVENTEEN)。好きな言葉は「衆知を集める」「今日という日には誰しも素人」

みなと隆介

Twitter Instagram 公式LINE



みなと隆介さんと

バトンタッチ



大阪市議員 たらど月美 4期15年、みなさんのお力で議会に送り出していただき、本当にお世話になりました。引き続きご支援をみなと隆介さんによりしくお願いいたします。

淀川区議の実績

- **市立幼稚園廃止ストップ**
大阪維新の橋下徹市長が市立新高幼稚園の廃止・民営化を計画したとき、撤回を求める保護者の方々をサポート。存続を求める署名は3万2000筆も集まりました。議会でも追及し、同園の存続を勝ち取りました。
- **認可保育園建設の実現** ● **日立ツール跡地の公園化を実現**

みなと隆介と日本共産党は引き続きみなさんの声を聞いて頑張ります!

誰もが生きやすい大阪市に!



みなと隆介から
みなさんへの
提案です。

誰もが安心して暮らせる大阪市へ

- 痴漢ゼロや生理の貧困への対応、男女の賃金格差解消の後押しなどジェンダー平等施策の拡充
- 介護保険料(政令市で最も高い!)や、国民健康保険料の引き下げ
- オンデマンドバスなど公共交通の充実でお出かけしたくなるまちへ
- 公園は誰もが無料で憩える場所としてしっかり整備
- 現在市内に1か所しかないファミリーシップ宣誓窓口を各区役所に



より詳しい政策は
ホームページを
ご覧ください

中小・スタートアップ企業や働く人を応援

- 中小企業の資金繰り支援、事業継承支援、販路開拓支援を強化
- 脱炭素、脱プラやDXに取り組む企業を後押しする施策を強化
- 学び直し(リスキリング)による技能や知識の向上を応援する施策を強化



カジノに頼らなくても地域経済を起点に成長できる!

市民目線の改革で財源をうみだす

- 大型開発を中心にあらゆる行政経費を徹底的に点検、また議員報酬のカットは継続



流通関係の企業で経営企画や数値管理を担当しました。
数値分析に基づき政策を提案!

誰もが子育てしやすい・ 学びやすい環境を

- 小中学校給食費の無償化継続
- 学校適正化条例を廃止、行政主導の小学校潰しは中止に



徹底した情報公開と市民の 声を集める仕組みづくり

- パブリックコメントや説明会の参加者数などに目標数値を設定し、実現するための広報体制を強化
- 東淀川区でのPFAS汚染をはじめ行政にとって不都合な情報ほどより広範な情報提供を実施

MINATO History



みなとってこんな人

社会って? 歴史って?

1983年生まれ。福岡やアメリカを経て宮崎市で18歳まで過ごす。高校生のときは生徒会活動の傍ら読書で社会や歴史について学ぶ。卒業後は京都大学経済学部へ入学。



大阪市に本社のある 流通大手等で勤務

布団の販売を通じ、商売の楽しさを実感。その後経営企画などの部長職も経験。民間企業の立場から地域づくりにも関わり、民間・行政・地域の役割について考えるように。

日本共産党との出会い

集团的自衛権行使容認の閣議決定に危機感を持ち、街頭宣伝などに参加。誰もが自分らしく生きられる社会をつくる、冷静な外交で平和を実現する…。そんな日本共産党に共感し、入党。



大阪市の廃止解体に反対し1人での宣伝を連日実施。たつみコートロー応援チームでも活動

誰もが自分らしく 生きられる社会へ

中学1年生の頃、ゲイを自認。そして2023年春、LGBT支援、障がい者支援、性暴力の根絶、セーフティネットを整え誰もが再チャレンジできる社会づくりなどに向け、挑戦する。

